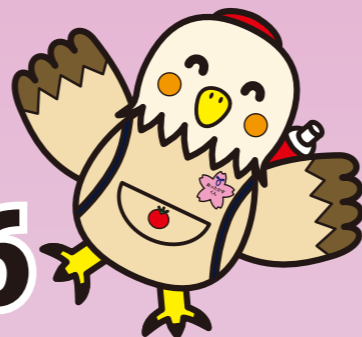


# 一般質問 その後を追跡! Vol.16



2019年12月発行 【発行・編集】鷹栖町議会

議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。

これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡しました。



皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

今回は2018年中の質問を追跡しています。  
この期間の定例会号は議会報170号～173号です。  
「農業」を表紙のテーマにしていました。

連絡先 鷹栖町議会事務局  
☎ 0166-87-2111 (内線 302・303)  
gikai@town.takasu.lg.jp



## 人口減少問題への対応は

2018年3月定例会 中村議員

### 社会増減がプラスに

移住環境整備の効果と課題は。

町長は「人口の社会増減をゼロにする」と発言していましたが、転出超過となっています。今後の対策は。

また雇用促進の取り組みと状況は。

**答弁 町長** 首都圏での移住相談が農業や福祉の就業体験などにつながっています。

社会増減ゼロは総合戦略の目標です。

平成28～29年度で3事業者7名の雇用が生まれています。企業立地推進条例に基づく支援策やTターン人材確保補助事業などで、定住人口の増加と人材確保に取り組みます。

平成30年度首都圏相談会6回107組、移住相談窓口24件(30年度中移住6件)の実績です。年度内社会増減がプラス2名となり平成25年度以来の増に転じました。  
雇用促進対策等助成金の利用は平成28年度4名、29年度4名、30年度2名の雇用につながっています。



議会報170号に掲載

首都圏での相談会は2019年度も5回実施予定です

## 独自の農業経営継承事業の考えは

2018年9月定例会 青野議員

### 就農支援事業を拡充

担い手・新規就農者対策として、本町独自の農業経営継承事業の考えは。

新規就農者への初期負担軽減策として土地や施設リース事業の取り組みは。

また後継者・親元就農者に対しても就農初期での経済的支援が必要では。

**答弁 町長** 平成29年度から事業継承が3件成立。後継者がいない60歳以上の農業者に意向調査し、受入農家協議会と調査研究を進め町独自の経営継承事業を確立します。

野菜ハウスリース事業などの調査・研究を検討します。後継者支援は、生活実態調査を行い支援内容を検討します。



議会報172号に掲載

7月に行われた激励会では農業研修生や後継者が決意を述べるなどしていました



野菜ハウスリース事業などについては検討中です。

## 防災対策の充実を

2018年12月定例会 片山議員

### 防災セミナーを開催

自主防災組織の整備と今後の進め方は。防災士、北海道地域防災マスターの資格取得への援助は。

**答弁 町長** 令和元年度は各地区で防災研修会を開催し、消防団とも連携し結成に向けた取り組みを進めます。

防災士は消防団分団長以上経験者6名が特例を利用し取得。北海道地域防災マスターは現状取得者がいませんが、今後、資格取得に向けた支援に努めます。



議会報173号に掲載



令和元年11月に、5地区で各1回、地区町内会役員、消防団員等を対象として、鷹栖町地域防災力セミナーを開催しました。

内容は地域で災害が発生した場合のリスクや、リーダーとしてどのように動く必要があるかを学ぶ「講座」、地図を見ながら地区の脆弱性について参加者同士で意見交換を行い、災害時の行動について理解を深める「グループワーク」を予定しています。このセミナーを自主防災組織の立ち上げと北海道地域防災マスターの取得につなげる考えです。

地域防災力セミナーでは、災害時にどのように対応するか意見を交わす「クロスロードゲーム」も行われました。

裏面に続きます

## 企業誘致の進捗状況は

企業誘致に総合戦略では新規参入企業7社という目標が掲げられていますが、取り組みの進捗状況と達成の見通しは。

**答弁 町長** 鷹栖町土地開発公社が保有する工業団地への誘致を念頭に取り組みを進めています。企業が進出しやすい条件を整えてきました。成果をあげるため地道に努力します。

議会報 173 号に掲載



2011年にリニューアル「たかす工業団地」のwebページ

## 公民館イベントで地域の活性化を

人が集まるきっかけを創り、地域を活性化させるため、各地区で住民が100万円を自由に使い、新たな公民館イベントを生み出せるようにしては。

私たち議員も積極的に参加していきます。

**答弁 教育長** 地域住民の人と人とのつながりを大切にしたい事業について、何か計画があれば惜しみなく支援したいと考えています。

議会報 173 号に掲載



地域の方と一緒に汗を流しています！

2018年12月定例会 中村議員

## 鷹栖工業団地を販売

令和元年6月に工業団地の2区画の販売契約が成立しました。(図の①と②の区画)

今後もさらなる企業誘致に向けた取り組みをしていくとのことです。



2018年12月定例会 中家議員

## 議員もイベントに参加

令和元年度は議会活性化委員の3名が中央地区の公民館イベント運営に関わらせていただいています。事前の会議や準備などを通して、住民の方と交流をしています。

新たなイベント創出につながるきっかけとなるよう今後も活動を続けていきます。



# 「健康と福祉のまち」を目指して！

### 鷹栖町の取り組みの変遷

健康と福祉については一般質問でもたびたびテーマになってきました。そこで今回は鷹栖町のいままでの取り組みをまとめてみました！

### 51年前 昭和43年 健康管理台帳作成に着手

「健康と福祉のまち」づくりを目指し、住民の健康に関する戸籍簿ともいえる「健康管理台帳」の作成に着手。「自らの健康は自らの手で守る」との保健思想を普及し、町民の健康を守る活動が定着するよう保健推進委員制度が発足しました。

### 最近 10年間

#### 無料クーポン発行！検査項目も充実！

平成 21 年  
子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポンを配布開始。

平成 27 年  
40・50・60歳の国民健康保険加入者に無料クーポン開始。北野地区住民センターにおいて日曜の特定健康診査開始。

平成 29 年  
検査項目に心電図、貧血検査、尿潜血検査を追加。子宮頸がん20歳・乳がん検診40歳を対象に骨粗しょう症健診をセットにした無料クーポンを配布開始。



平成 30 年  
ワンコイン（500円）の自己負担での受診開始。

平成 31 年  
胃がん健診項目に胃内視鏡検査を選択できるようになりました。肺がん検診と特定健診で初回限定おためし無料クーポンを対象者へ配布開始。

### 44年前 昭和50年 ミニドックをスタート

30歳以上の全町民を対象に、各地区公民館で第1次健診・第2次健診および事後指導からなる総合健康診査（ミニドック）をスタート。

疾病状況に応じてそれぞれに医師・保健師・栄養士による指導が行われました。

### 33年前 昭和61年 健康管理のシステム導入

健診・疾病に関する情報を「健康管理情報システム」に登録し健康管理作業に活かす取り組みを導入。

### 11年前 平成20年 特定健診開始される

国の制度改正で特定健康診査が開始。総合健康診査から各地区住民センター健診へと変更されました。

生活習慣病予防が必要な受診者に対して、保健師・管理栄養士による個別の保健指導も実施。



## 目指そう！受診率向上！

町では特定健康診査受診率の向上にむけて受診しやすい環境づくりに努めています。平成30年度の受診率は目標の50%を超え55.3%でした。

令和5年度の目標として受診率60%を設定しています。受診率が高くなることは町の負担を減らすことにもつながります。ぜひ特定健診の受診を！